

地域防災啓発事業実施

—9月1日「防災の日」
別海市街で自主防災訓練実施—



親子で体験 非常食づくり

全国各地で防災訓練が実施された9月1日（日）、別海町でも別海連合町内会と社会福祉協議会が連携し、大地震を想定した自主防災訓練（別海地区対象）を行いました。

午前10時、消防サイレン吹鳴を合図に避難し、町防災対策本部に通報伝達を行い、その後各避難所で研修が行われました。

社会福祉協議会では災害時のマンパワーの養成を目的とし、避難所である町民体育館・交流館ぶらとの2カ所に出向き、地域と連携し「地域防災啓発事業」を実施しました。

町民体育館では、別海川上町内会・緑町内会の皆さんとともに、株式会社カタカハシ様より平成23年に別海町に寄贈され体育館に備えられている

ガス炊飯器2台、5徳コンロが5台とガス発電機（800W程度）1台を使用し、炊き出し体験と非常持出品の紹介を行いました。

ガス発電機は、体育館の暖房用ガスタンクから燃料を供給し、停電時でも照明を確保し、非常食が作れます。

株式会社カタカハシ様はじめ町内事業者にご協力いただき、ガス器具の設置方法・使い方・災害時の取扱いを学びました。

非常持出品紹介と非常食づくり

社協職員が非常用持出袋に入れて

おきたい物と、災害時に日本赤十字社から支給される緊急セットを紹介した後、非常食（アルファーミ・ハイゼックス炊飯袋・ペットボトルを使つた炊飯）づくりを参加者に体験して頂きました。

ここで一部をご紹介します。



寄贈された炊飯器とコンロ

○給水バッグ
断水時に飲用水をもらうとき、背負える便利なバッグ

○災害用トイレ
水洗トイレが使えない時に袋をト

○アルミのブランケット
 ireにかぶせて使用

暖房器具が使えない、吹雪で車が遭難した時の体温保持

○手動発電器（ライト、ラジオ、携帯・スマホ充電）
停電時に携帯電話の充電ができる、またラジオ・ライトがついている

ので情報収集、夜間に重宝

「災害から自分たちの地域を守ろう」 自主防災意識を高める

—別海町町内会連絡協議会
自主防災活動助成金事業実施—

近年、各地で頻発する災害を教訓に、地域の自主防災意識が高まっています。
大災害では、地域住民の連携と協力による情報収集や伝達、初期消火、避難誘導などの組織的な行動が、被害防止と軽減に大きな力を發揮します。

別海町町内会連絡協議会（曾根興三会長）では、加入している連合町内会、単位町内会が実施する自主防災訓練や防災研修会等に対して助成

※最近、受信しにくいラジオが出回っています。

「ご購入の際は町内の家

電販売店で相談されるか、インターネットでのレビューなどを参考に

商品を選ぶとよいでしょう。

○折りたたみイス

避難所で自分用イスがあると避難所生活が少し快適に

○日用品・ケガの治療等

バンドエイド、包帯、ウェットティッシュ、眼鏡、ボールペン・マジック、小銭、飴・ガム、折りたたみコップ

非常持出袋をお持ちの方はこの機会に中身の再確認をして災害に備えてください。



持ち出し袋の中身はときどき点検しましょう



防災グッズに高まる関心

ダンボールを使って仕切りづくり

避難所でプライバシーを確保するための仕切りづくりでは、市販のダンボールを使い、参加者全員でどのような配慮が必要か考えながら作成しました。

社会福祉協議会では災害が起きても被害を最小限に抑え、互いに助け合う事のできる地域づくりに取り組んでいます。

今回の事業で使った災害グッズは社協に保管しています。

町内会や各種団体の研修会等で展示、紹介を希望される場合はご連絡ください。

なお、購入先の紹介、斡旋も可能ですので担当者までお問い合わせください。
(担当 片野)



助け合って仕切りづくり

を行い、災害に備えた安心安全な町づくりを応援しています。

平成25年度は、別海連合町内会、西春別駅前連合町内会、中春別町内会の3地区に助成金を交付しました。

9月1日の別海連合町内会の自主防災訓練に続き、中春別町内会では9月28日に、西春別駅前連合町内会では10月20日に自主防災訓練が予定されています。



ぷらとで行われた避難訓練